

## はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」

### 第2回 実行委員会(『キックオフ・ミーティング』)



#### 第2回 実行委員会を開催しました。

平成23年5月24日、大阪迎賓館・豊松庵において、はなやか関西～文化首都年～2011「茶の文化」第2回 実行委員会(『キックオフ・ミーティング』)を開催しました。

平成23年度における「はなやか関西～文化首都年～2011」の開始にあたり、「関西の『本物』:茶の文化」や「『本物』を活かした関西の地域づくり」について、実行委員会で議論するとともに、本取組を広く人々に知っていただくことで、「文化首都圏・関西」の形成に向け「茶の文化」に関連する地域づくり活動の活発化や取組間の連携を力強く推進させることを目的に、一般の方及び報道関係者等も参加の上、開催しました。



#### 【開会】



実行委員会委員長 堀井 良殷 氏  
(財団法人大阪 21 世紀協会理事長)

委員会は実行委員会事務局による挨拶で開会しました。

続いてこの日議事進行を務める当実行委員会委員長の堀井良殷氏(財団法人大阪 21 世紀協会理事長)が「はなやか関西～文化首都年～2011『茶の文化』」について簡単に紹介。

「茶は日本文化がひとつのお椀の中に凝縮したような、一大文化大系。ほかの国には絶対真似ができない、この茶の文化がキックオフの年のテーマに選ばれた。呼びかけにより 46 の様々な企画・催しが各地で行われている。このような力を点から線、面にして関西の文化首都たるものを内外に発信していければと考えている。」



## 【第一部 登壇者による説明会】

産学を代表して、2名が登壇し、関西の文化と本物、関西ブランドの確立のためのポイントについて説明を行った。

### ①実行委員会アドバイザー 寺本 益英 氏（関西学院大学経済学部教授）

1200年続いてきた日本の喫茶文化が転機を迎えてきている。それは、消費者、生産者両方の側からと言える。

家族の行動パターンがばらばらで食事や家族団欒を楽しむ機会が減り、ゆっくりと日本のすばらしい伝統文化に親しむ機会を失っている消費者。リーフ緑茶離れが進んでいるため元気がなくなっている生産者や茶商。

それらの問題を考えていくために、茶のフードシステム、生産者から消費者に届くまでのルートの中にどのような問題があり何を改善しなくてはならないかを考える必要がある。

今まではフードシステムのスムーズな連続性がなく、情報がうまく伝わっていなかった。

今後、生産者・茶商は、生活シーン、年齢、季節、価値観、予算など様々な要因に応じて、茶の楽しみ方を消費者に提案することが大事である。

また、消費者のニーズも生産者に伝わっていなかったのも、これまで生産者・茶商はどのような茶を生産すれば喜ばれるのかわからなかったが、その情報をスムーズに伝えるため、フードシステムを遡り、川下から川上へ情報を伝えることも重要である。

さらに、京都の茶の歴史に象徴されるように、近畿は歴史的にも文化的にも大変優位であるにも関わらず、そのことが十分にPRできていなかった。

それを再評価し、行政と茶業界が一体となって連携しながら近畿のPRをする取組を始めたのが「はなやか関西」である。

リーフ緑茶離れを解消するために、茶に関心を持ってもらう土壌をしっかりと固めるという意義をこのプロジェクトは持っている。魅力的な各種イベントを通して消費者に感動や喜び、新たな発見のチャンスを提供し、それによって茶に親しみ・愛着を持ってもらうことが重要である。



実行委員会アドバイザー  
寺本 益英 氏  
(関西学院大学経済学部教授)



取組参加団体の代表 株式会社福寿園 取締役社長 福井 正憲 氏

### ②取組参加団体の代表

#### 株式会社福寿園 取締役社長 福井 正憲 氏

関西に必要なのは自信。一から創造しなくても多数の文化資源を有する。これを真剣に理解し、磨き、世界に発信しなくてはならない。

日本を知ってもらうのに最も外国人にわかりやすいのが茶である。その茶の文化をしっかりと活用し、関西の文化首都の実現につなげ、世界をターゲットに茶の文化・産業を育てていきたい。

## 【李 広宏 氏コンサート】



### 「茶の発祥の地・中国から」

中国出身で現在は日本で活動をされている歌手、李広宏氏によるミニコンサート。

#### 【李広宏氏プロフィール】

1961年中国蘇州生まれ。16歳の時に中国伝統劇滬劇俳優になり、1987年来日。阪神淡路大震災を日本で体験。その後の四川大地震、今回の東日本大震災のチャリティーコンサートを実施。李氏は音楽を通じ日本と中国、そして世界の文化の架け橋になりたいと活動されている。



## 【第二部 取組参加団体の紹介】

46 の取組参加団体を代表して、8つの取組参加団体がリレートークというかたちでそれぞれの取組内容を紹介しました。

### 【発表団体】

- ① NPOシニア自然大学菊炭クラブ
- ② 公益財団法人 山本能楽堂
- ③ やまと郡山環境を良くする市民の会
- ④ 独立行政法人 日本万国博覧会記念機構
- ⑤ 財団法人 大阪日本民芸館
- ⑥ 財団法人 小笠原流煎茶道
- ⑦ (株)福寿園
- ⑧ 和東町雇用促進協議会



それぞれの団体の活動内容についてはこちら

▶ <http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/program/data/2011/hanayaka/pdf/promotion-book.pdf>

### 【事務局説明】

実行委員会からの連絡事項等について事務局から説明。

- ① 実行委員会規約の改正(委員の追加)
- ② 「スタンプラリー」実施要領
- ③ 「非公開茶室の見学」募集要領
- ④ 「関西の学生アイデア募集！」について
- ⑤ 「大阪城を舞台とした茶の文化の総合イベント」について
- ⑥ 公益財団法人関西経済連合会主催の講演会とのタイアップについて

はなやか関西～文化首都年～の最新情報についてはこちら

▶ [http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/program/category\\_plan.html](http://www.kkr.mlit.go.jp/kokudokeikaku/program/category_plan.html)

## 【第三部 関西の茶生産地紹介&試飲&抹茶体験】

茶室の豊松庵及び大阪迎賓館昼食会場において、茶の生産地紹介、試飲、抹茶体験を行いました。

### 抹茶体験



出展：社団法人京都府茶業会議所 会場：豊松庵

### 煎茶の試飲



出展：和東町雇用促進協議会 会場：大阪迎賓館昼食会場

## 【閉会】